

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	キンダーハイム地域支援事業		
○保護者評価実施期間	2025年11月25日		～ 2026年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年11月25日		～ 2026年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 個々の子どもの発達状況や特性、興味・関心に合わせてグループでの遊び(療育)を提供できる。	・ 子どもの様子を観察し、保護者からの話を聴き、季節の行事なども取り入れて設定保育や自由遊びで提供するおもちゃも希望を聞きながら準備し実施している。	・ 子どもの様子を観察、保護者とのやりとりを継続していく。 ・ 職員がスキルを向上させるために、研修への参加や自己研鑽に取り組むことを推進する。 ・ 療育支援に専念できるようICTを活用した業務改善を検討していく。
2	・ 保護者支援として、保護者同伴の親子教室を実施し、相談しやすい環境づくりと円滑な情報共有に努めている。また、保護者と共に支援方法を検討し、一貫した療育につなげている。	・ 保護者の様子を丁寧に観察し、安心して参加できる話しやすい雰囲気づくりに努めている。保護者からのお話を伺いながら困りごとを共に考え、遊びの様子を踏まえてお子さんの変化や成長を伝えるようにしている。	・ 保護者一人ひとりに合わせた言葉がけのタイミングや伝え方を工夫している。自分から職員に話しかけることが少ない保護者には、意識的に声をかけ、安心して相談できる関係づくりに努めている。
3	・ 子どもや保護者の状況について職員間で日々情報共有を行い、連携した療育を提供している。	・ 事前に日案を確認し、子どもたちへの関わり方について職員間で話し合うことで、連携した支援を行っている。子どもたちの様子や保護者から伺った内容を共有し、次回のかかわり方についても話し合っている。また、職員間での振り返りをもとに記録を作成し、継続的な支援の質向上につなげている。	・ 職員間の情報共有の質をさらに高めるため、共有内容の整理方法や記録の統一化を進めていく。話し合いで決定した支援方針を、全職員が一貫して実践できるよう、確認体制を強化していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 利用を希望される方が少なくなっていること、欠席者が複数いると設定あそびが成立しにくいことがある。	・ 関係機関への周知不足 ・ 主たる生活の場(保育所・幼稚園)での行事に向けた活動を優先させたいため、欠席することが増えている。 ・ 親子教室のため、家族の体調不良や用事で欠席されることもある。	・ ホームページや相談支援事業所など関係機関への周知を実施。 ・ どの設定あそびもねらいを明確にしながら、状況によっては設定あそびを変更させるなど臨機応変に対応できるようにする。また、参加されている保護者への説明も行う。
2	・ 連絡体制が電話やメールとなっているため、災害時などの緊急時に連絡が取れない可能性がある。また、自己評価の結果については、館内に掲示した。	・ 連絡体制についてICT検討は行っているが、今年度は実施には至っていない。 ・ 法人全体のホームページをリニューアルしていたため、館内掲示となった。	・ 連絡体制については、コドモンを導入し災害時などの緊急時や欠席連絡についての対応も行っていく。 ・ ホームページのリニューアルが完了したので、今回の自己評価についてもホームページで見えていただけるようにする。
3	・ 父母の会や保護者会という名称での活動は実施できていない。	・ 保護者同士の交流や繋がりがづくりを意識して、職員が働きかけを行っているが、保護者との話をすることが苦手で、職員と話すことを好まれる方も多くなっている。	・ 子どもたちの生活や発達に合わせた保護者学習会を実施し、その中で保護者同士が意見交換できる機会を作っていく。 ・ 自由遊びの時間に保護者同士が話せるよう、職員がつかないでいく。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				令和8年3月5日	
キンダーハイム地域支援事業		利用児童数				19	回収数
						18	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	0	0	0		・引き続き子どもたちの活動スペースを確保してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	0		・法令上の配置基準以上を満たしている時もあります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1	0	0		・引き続きスケジュールを写真やカードを使って提示することや床に色分けしたテープを貼りわかりやすい環境作りを行います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもたちの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	0	0		・引き続き衛生面に配慮し、清潔で心地よい空間作りを行います。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0		・これからも保護者の皆さんと話し合いながら、お子さんにあった関わり方や遊び方を考え取り組んでいきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0		・公表しているプログラムについて、ご意見・ご要望がございましたら遠慮なく職員まで声をかけてください。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0		・引き続きお子さんの教室での様子や保育所・幼稚園、家庭での様子、他機関での発達検査の様子と皆さんから聞かせていただいたニーズにより個別支援計画を作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0		・個別支援計画の中で、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」と項目を表記させていただいています。今後はこども家庭庁の個別支援計画書参考様式に書式を変更してまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		・打ち合わせや振り返りを行い、より充実した支援ができるよう引き続き取り組んでいきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1	0	0	・取り組みが毎回工夫されて、個別の成長に合わせて少しずつ難しくなっている。	・今後もお子さんの課題を把握し、興味を持って取り組める遊びを提供してまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	2	5		・全てのお子さんが、幼稚園や保育所を利用されているため、交流保育などの実施はありませんが、近隣のイベントについてお知らせさせていただくこともあります。
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		・ご不明な点がございましたら、いつでもご質問ください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		・これからも保護者の皆さんと話し合いながら、お子さんへの支援を考えていきたいと思っております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1	0	0	・勉強会がもうけられている。	・各グループでの保護者学習会では、お子さんの年齢や様子からテーマを変えて実施しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0		・今後も保護者の方とやりとりを丁寧に行い、お子さんの状況を把握し、関わり方を考えてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	0	・現在、園や自宅で困っていることはないかを聞いてくれる。 ・いつも細やかな聞き取り、面談でのお心遣いに感謝です。	・毎年定期的に懇談を行っています。保護者の方からのご要望に応じて、随時懇談もさせていただいています。ご希望があれば声をかけてください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0		・引き続き、保護者の方やお子さんの状況に寄り添った支援ができるよう取り組んでまいります。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2	0	3	・保護者同士が交流を持つことができるように、学習会の中で意見交換をする時間を設けることや子どもたちの自由あそびの時間にお話しできるようにしています。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	0	・引き続き、ご要望がありましたら遠慮なく声をかけてください。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0	・今後も連携が取れるよう、コミュニケーションを取っていきます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	3	2	3	・今までは、プログラムについては各ご家庭に配布し、自己評価結果などは館内に掲示していましたが、今後は新しくなったホームページで公表していきます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0	・契約書などの書類については、鍵付きの書庫に保管しています。	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	0	0	0	・引き続きマニュアルを見直しを行いながら、対策していきます。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	1	・定期的にある。 ・たくさんのご家庭に参加していただけるように各グループ前期・後期に1回ずつ実施しました。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0	・今後安全計画については、ホームページにてお知らせするようにしていきます。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	0	・保護者の方と一緒に参加していただいているので、ケガの状況や処置について一緒に対応していただいています。	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	・楽しく通えている。 ・毎回楽しみに通所させていただいております。	・あまり好きでない遊びの時も、どのような支援があれば取り組みそうか考えながらすすめています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	1	・自らリュックを用意し、出発もスムーズにいけてます。本人も楽しみにしている姿を見せてくれています。 ・楽しみにしていますが、教室に入ると緊張してしまいます。 ・とって楽しんでしています。 ・毎回楽しみに通所させていただいております。	・たくさんのご意見ありがとうございました。 ・保護者の方と協力して楽しく遊びをすすめていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	・毎回浮き沈みがありますが、その都度対応していただきとてもありがたいです。 ・親子共々楽しく、ありがたく思っています。	・いつもたくさんの方でご協力いただきありがとうございます。その日のご家庭や園の様子を聞かせていただくことで、遊びのすすめ方やお子さんへの関わり方を工夫することができています。親子教室の良さを生かし楽しんでいただけるようこれからも努力していきます。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	キンダーハイム地域支援事業		公表日		令和8年3月5日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・広めの部屋で活動している。	・利用人数に比べ広い部屋を使用している。 ・保護者や祖父母、きょうだい児など入室する人数を増やしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・広めの部屋で活動している。一人多く配置している。 ・手厚いと思います。	・配置基準以上に配置できていることもある。引き続き適切な職員配置を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・必要に応じて視覚支援を行い、分かりやすい環境になっている。 ・トイレの段は気になるが、経験を積んでいくと段の上り下りも上手になっている。 ・視覚支援の活用	・引き続き、活動により配置を変えることや、いすや机の配置場所など目で見え分りやすい環境作りを行っていく。 ・トイレの段差について現在は問題ないが、利用される方に応じて段差解消など検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日の清掃と毎回の消毒	・引き続き衛生面に配慮し、清潔で心地よい空間づくりを行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・別室対応を取れるようにしている。 ・空いていれば利用できるが常時ではない。廊下は利用できる。	・親子教室の部屋以外では、保護者・職員と共に廊下や別室などで過ごすことはできる。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・チームで話し合っている。	・定例会議だけでなく、必要に応じ職員間で話し合いを行っている。会議に参加できない職員がいる時は、会議内容を報告し意見を出してもらうようにしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・保護者の意見を参考に改善に努めている。	・保護者等からの事業所評価の中では、ホームページについての周知不足や災害などの緊急時にも迅速に対応できるよう、ICTを活用した連絡体制の構築が必要である。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・チームで話し合い改善に努めている。	・引き続き業務内容や分担を行い、進捗状況を確認しながら調整や改善を行う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	・評価会議に第三者の方に参加していただくところから始めていけば良いと思う。	・現時点では第三者による外部評価は実施していないが、評価会議に外部有識者等の参画を得ることを検討し、評価の客観性と透明性の向上を図っていくことを検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・事業所内研修だけでなく、外部研修にも必要に応じて参加している。 ・定期的に研修がある。	・月に1回程度の施設内研修や法人内研修、外部研修への参加を行っている。今後も積極的に職員が研修に参加できるようにし、研修内容について日々の支援に反映していけるように職員間でやりとりしていく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・職員間で話し合い作成している。	・職員で話し合い支援プログラムを作成し、館内の掲示により公表している。今後は、新しくなったホームページを活用し公表する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・親子教室のため、普段から保護者とやりとりし、それをもとに作成している。	・アセスメント表への記入や医療機関等で実施した発達検査の記録も提供していただいている。 ・懇談の中で保護者のニーズや子どもたちの課題を分析し作成している。引き続き子どもたちや保護者のニーズの把握に努める。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・チームでの会議で、検討し作成している。	・個別支援計画について、今後も会議の場で職員それぞれが意見を出し作成していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		・支援のねらいを職員間で共通理解し、計画に沿った遊びを提供できるよう今後も取り組んでいく。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・発達検査の結果などと日頃の日記録から確認している。	・医療機関等で実施した発達検査の記録の内容や検査項目の意味について、日々の活動の中で様子について職員間で確認し、子どもの状況把握に努める。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		・児童発達支援ガイドラインを踏まえ、保護者からの話や子どもたちの様子から、必要な支援と具体的な方法を設定できるよう、引き続き職員が子ども理解、発達理解を深めていくことが必要。 ・書式について、今後はこども家庭庁の個別支援計画参考様式に変更していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・毎回話し合っている。 ・話し合いながら決めている。	・引き続き子どもたちの課題や興味関心に沿った遊びを提供できるよう、子ども理解を深めるとともに研修等で学んだことも参考に、立案していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・毎回話し合っている。時々同じあそびを入れることで、成長の確認を保護者にしていたり、だくこともあるが、基本的に色々な遊びを入れるようにしている。	・子どもたちの課題や興味関心を踏まえ、体を動かす遊び、ルールのある遊び、制作、感触遊びなど多様な活動を計画的に取り入れ、意欲的に参加できる環境づくりを継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		・子どもたちの状況を把握し、支援目標や支援方法を工夫している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・日案の確認をし、役割分担や子どもへの対応なども話し合っている。 ・毎回行っている。	・事前に日案の確認を行い、子どもたちへの関わり方についても話し合っているため、職員間で連携して実施している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・振り返りを行い、次回の対応などについて話し合っている。	・引き続き子どもたちの様子や保護者の方が話されていたことを職員間で情報共有し、次の関わり方について話し合っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		・職員間の振り返りをもとに日記録を作成し、支援を検証し改善する。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		・子どもの発達状況や行動の変化、保護者からの情報を総合的に評価し、必要に応じて支援計画を柔軟に再検討・調整していく。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児等発達支援管理責任者や担当職員が参加している。	・事業者同士で情報共有しながら、より良い支援につなげるために、今後も積極的に参加していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・必要に応じて連携しやりとりしている。	・引き続き関係機関との情報交換や連携を行う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・必要に応じて情報交換、共有している。保護者を介して行うこともある。 ・保護者を通じての情報共有をしている。 ・幼稚園、保育園と情報共有する機会がある。 ・全ての子どもが就園している。就園先が親子教室の様子を見学され意見交換することもある。	・引き続き保育所、幼稚園のクラス担任が見学希望された場合の受け入れや保護者を通しての情報共有などを行う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・必要に応じて行っているが、保護者から伝えていただけるよう、保護者と話し合うこともある。 ・保護者を通じての情報共有をしている。 ・保護者を通じて行っている。	・今後も懇談で進路先に伝えることを保護者と話し合っていく。 ・引き続き就学に向けた学習会を実施する。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					

31	(31は、事業所のみ回答)				・引き続き積極的に相談やアドバイスを受けていく。	
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	0			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	・通っている主たる生活の場が、幼稚園・保育所のため、普段から交流できている。 ・利用児童は地域の保育所・幼稚園などに在籍している。	・引き続き保育所・幼稚園での様子を保護者の方から聞きながら、職員がお子さんへの理解に努める。 ・近隣のイベントで交流できる機会があれば、周知していく。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・親子教室のため、普段から保護者とやりとりしている。	・引き続き親子教室の中での子どもの様子を保護者と職員が一緒に見ていくことで、成長を確認しあい今後の課題を話し合っていく。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・クラスの子に合わせて保護者学習会を行っている。 ・保護者学習会の機会を設けている。 ・学習会を行っている。	・引き続き子どもたちの年齢や生活に合わせた保護者学習会を実施する。 ・職員が理解を深めるための研修も行う。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		・引き続き契約時に説明を行い、わからないことがあればその都度聞いていただくように声をかけていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・懇談以外でも普段の療育の中で確認している。	・お子さんに希望を聞くことや活動の中で好んでいることなども参考に取り入れ、保護者の方からのお話を聞き懇談の中で意向を確認している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		・今後も保護者の方に説明を行い、話し合いながら、個別の支援計画を作成し、目標や支援内容について同意していただけるようにしていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・定期的に懇談を設けている。	・定期的な懇談以外にも保護者の方からのご要望に応じて随時懇談を実施している。また、療育の中で必要な助言もを行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	・親子教室のため普段から保護者同士で交流できるよう配慮している。きょうだいが参加した時に一緒に遊べるよう関わっている。 ・保護者学習会時に兼ねて行っている。きょうだい児も参加可能にしている。 ・学習会で保護者同士の交流も目的としている。 ・保護者学習会で、意見交換などを行い交流の機会を作っている。	・父母の会や保護者会等の名称での会はないが、今後も学習会や療育時間の中で保護者の方同士が交流や意見交換ができるようにしている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・随時懇談を設定している。	・こどもや保護者の方からのご要望や相談の申し入れに対しては、随時対応を行っている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・毎月のプログラムと季刊誌「どろんこ」を発行している。 ・おたより(プログラム)は定期的にお渡し。施設全体での文集も年2回発行している。今後はホームページでの発信を充実させていく。	・毎月のプログラムを掲載しているおたよりや年2回季刊誌を発行している。 ・ホームページへの自己評価の公表を行い、コードモン等を使つての連絡体制を検討していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・鍵のかかる収納庫にファイルを入れている。	・引き続き個人情報の取り扱いや保管について慎重に行う。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・必要に応じて視覚支援等を行っている。 ・視覚提示(写真・絵など)漢字にルビをふるなどしている。 ・表情や行動をしっかりとチェックするようにしている。	・保護者の方とは対面で話している。 ・子どもたちへは、ことば+写真やカード、実物などを提示して伝えている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・行事がないため招待はしていないが、地域の方が入館しやすい入り口である。 ・地域の祭りに参加している。 ・地域のふれあい祭りに参加。周知も行っている。	・現時点では、保護者からの要望はないが、地域での行事についての周知は引き続き行う。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・避難訓練を実施している。	・引き続きマニュアルの見直しを行いながら、対策していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		・施設内で策定された業務継続計画（BCP）をもとにグループワークや訓練で再検討し見直しを行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・アセスメント表にて服薬は把握している。	・契約時に保護者に聞き取りや用紙に記載してもらっている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・小麦粉アレルギーのある子がいる時は使用せず、別の素材を用いる等保護者と相談している。 ・保護者同伴のため、保護者を通じて。 ・今年度食べ物を提供しておらず。 ・今年度該当者なし。	・今年度は対象者はいない。 ・食事やおやつ提供は行なっていない。 ・契約時に保護者にアレルギーのことについて聞き取りや用紙に記載してもらおう。アレルギー反応が出る素材を遊びに使わないように気をつけている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・警察からの不審者対応などの研修は行なっている。	・引き続き安全計画に基づき研修や点検等を実施していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・災害等に対する避難場所をお伝えしている。	・安全計画については、館内に掲示しているが、今後はホームページなどのICTにていつでも見る事ができるようにしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		・ヒヤリハットについては、終礼で全体化を行い、再発防止に向けた具体的な方策を検討し、必要な改善策を講じながら対応に当たっている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・毎年研修を受けている。	・施設内や法人内で行う虐待防止研修や身体拘束等の適正化研修に、今後も継続的に参加し支援の質の向上に努めていく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		・やむを得ず身体拘束を行うかについて、身体拘束適正化委員会で検討確認し、保護者やお子さんに事前に説明し了解を得て、個別支援計画に記載する手続きを遵守します。	